

2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月9日

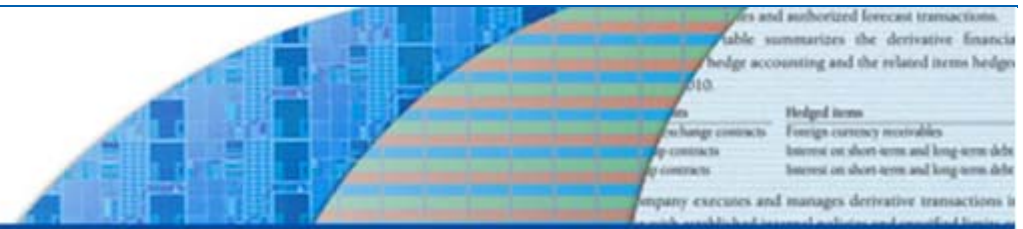
株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高執行責任者（COO） 垣内 永次

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。



本日のアジェンダ



1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」〈中間報告〉

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」〈中間報告〉

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

2016年3月期 第2四半期 連結業績

	2015/3月期					2016/3月期				
	実績					実績			前年 同期比	8/10 予想
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	1Q	2Q	上期	上期	上期
(単位：億円)										
売上高	524	600	1,124	498	753	561	737	1,298	+173	1,260
SE	351	406	757	346	470	347	472	819	+62	800
GP	121	150	272	121	162	147	165	313	+40	295
印刷関連機器 (GA)	102	127	229	104	133	126	140	267	+38	250
プリント基板関連機器 (PE)	19	23	43	17	28	20	25	45	+2	45
FT	49	40	90	28	119	63	96	159	+68	160
その他	1	1	3	1	1	3	2	5	+1	5
営業利益	22	44	67	33	70	32	75	108	+40	93
営業利益率	4.3%	7.5%	6.0%	6.8%	9.3%	5.9%	10.2%	8.3%	-	7.4%
SE	29	33	62	40	54	21	58	79	+16	-
GP	4	14	19	1	7	9	7	17	▲1	-
FT	▲4	2	▲2	▲8	14	1	14	15	+17	-
その他	▲6	▲5	▲12	0	▲5	0	▲4	▲4	+7	-
経常利益	23	42	65	28	67	34	71	106	+40	88
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15	31	46	31	43	22	62	84	+38	68

*SEはセミコンダクターソリューション事業、GPはグラフィックアンドプレジジョンソリューション事業、FTはファインテックソリューション事業を示しています。

業績サマリー <2016/3月期 第2四半期>

>>前年同期比

(単位:億円)

	2015/3月期 2Q		2016/3月期 2Q		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	600	100.0%	737	100.0%	+137	+22.8%
営業利益	44	7.5%	75	10.2%	+30	+66.9%
経常利益	42	7.0%	71	9.7%	+29	+71.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31	5.2%	62	8.4%	+30	+99.1%

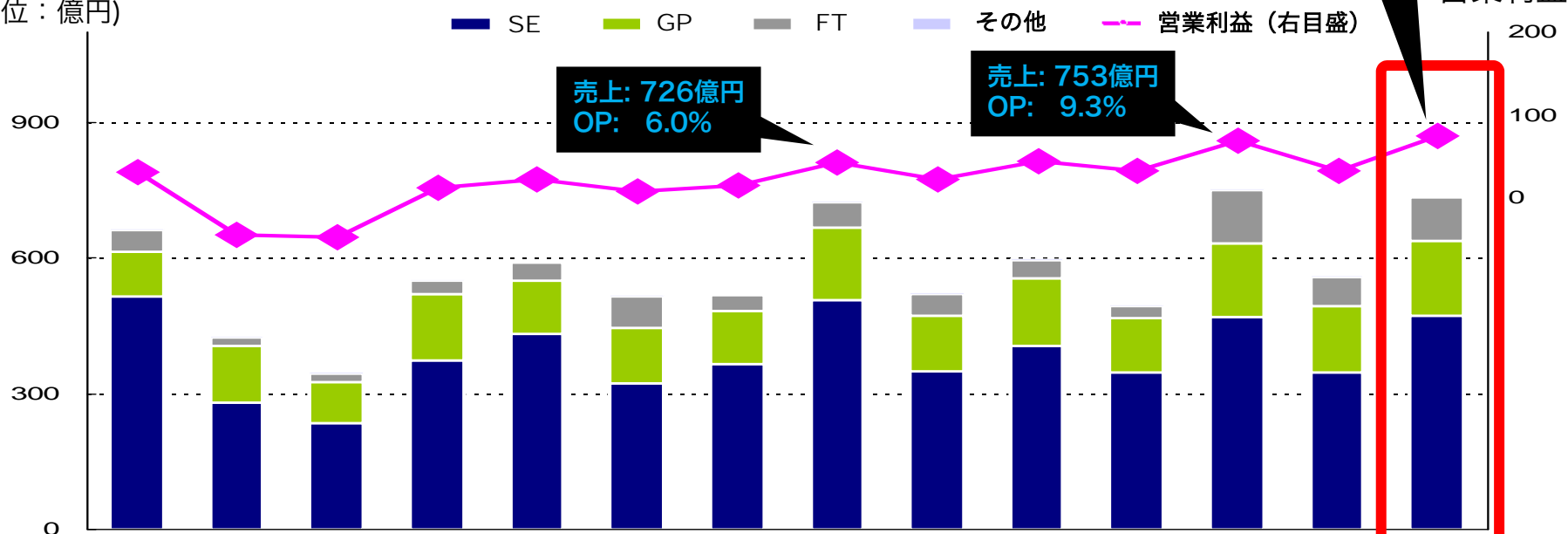
>>前四半期比

(単位:億円)

	2016/3月期 1Q		2016/3月期 2Q		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	561	100.0%	737	100.0%	+176	+31.4%
営業利益	32	5.9%	75	10.2%	+42	+127.6%
経常利益	34	6.1%	71	9.7%	+37	+109.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	4.0%	62	8.4%	+39	+173.8%

売上高/営業利益 四半期推移<連結>

売上高
(単位：億円)



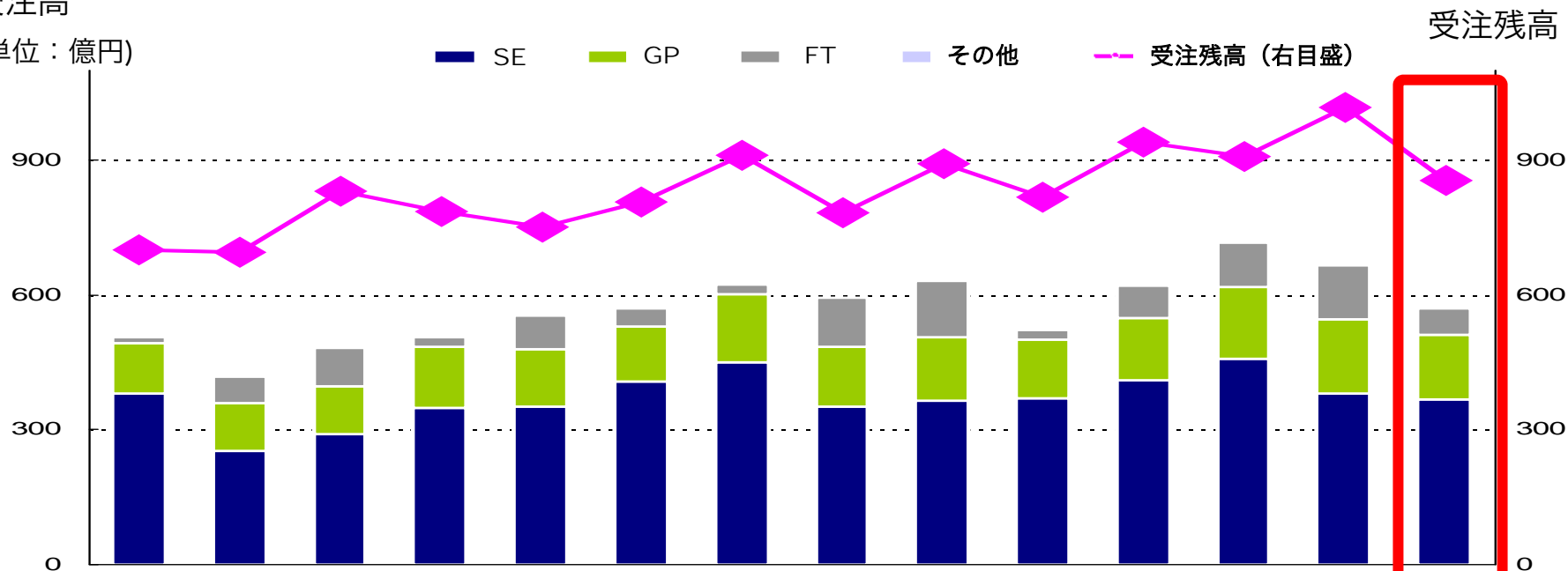
	2013/3月期				2014/3月期				2015/3月期				2016 / 3月期	
売上高	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
SE	516	280	235	373	433	323	367	506	351	406	346	470	347	472
GP	99	125	90	147	116	124	117	162	121	150	121	162	147	165
FT	48	20	20	30	41	68	33	55	49	40	28	119	63	96
その他	1	1	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2
営業利益	31	▲44	▲48	12	22	8	15	43	22	44	33	70	32	75

*2013年3月期のSE、FTは、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

受注高/受注残高の四半期推移<連結>

受注高

(単位：億円)



	2013/3月期				2014/3月期				2015/3月期				2016 /3月期	
受注高	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	506	420	483	508	553	572	625	596	632	521	620	718	667	573
SE	382	254	290	350	351	407	450	351	366	369	411	459	381	367
GP	112	105	108	134	129	122	153	134	141	132	137	160	164	144
FT	11	60	84	23	73	42	21	110	125	20	72	98	121	60
受注残高	701	695	831	787	750	806	912	784	893	817	941	907	1,017	855

*2013年3月期のSE、FTの受注残高は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」〈中間報告〉

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

セグメント別 業績概況<SEセグメント>

>>前年同期比

(単位：億円)

	2015/3月期 上期		2016/3月期 上期		増減	
売上高	757	100.0%	819	100.0%	+62	+8.2%
営業利益	62	8.2%	79	9.7%	+16	+26.7%

(単位：億円)

	2015/3月期 2Q		2016/3月期 2Q		増減	
売上高	406	100.0%	472	100.0%	+66	+16.3%
営業利益	33	8.2%	58	12.3%	+24	+73.7%

>>前四半期比

(単位：億円)

	2016/3月期 1Q		2016/3月期 2Q		増減	
売上高	347	100.0%	472	100.0%	+125	+36.2%
営業利益	21	6.1%	58	12.3%	+37	+175.4%

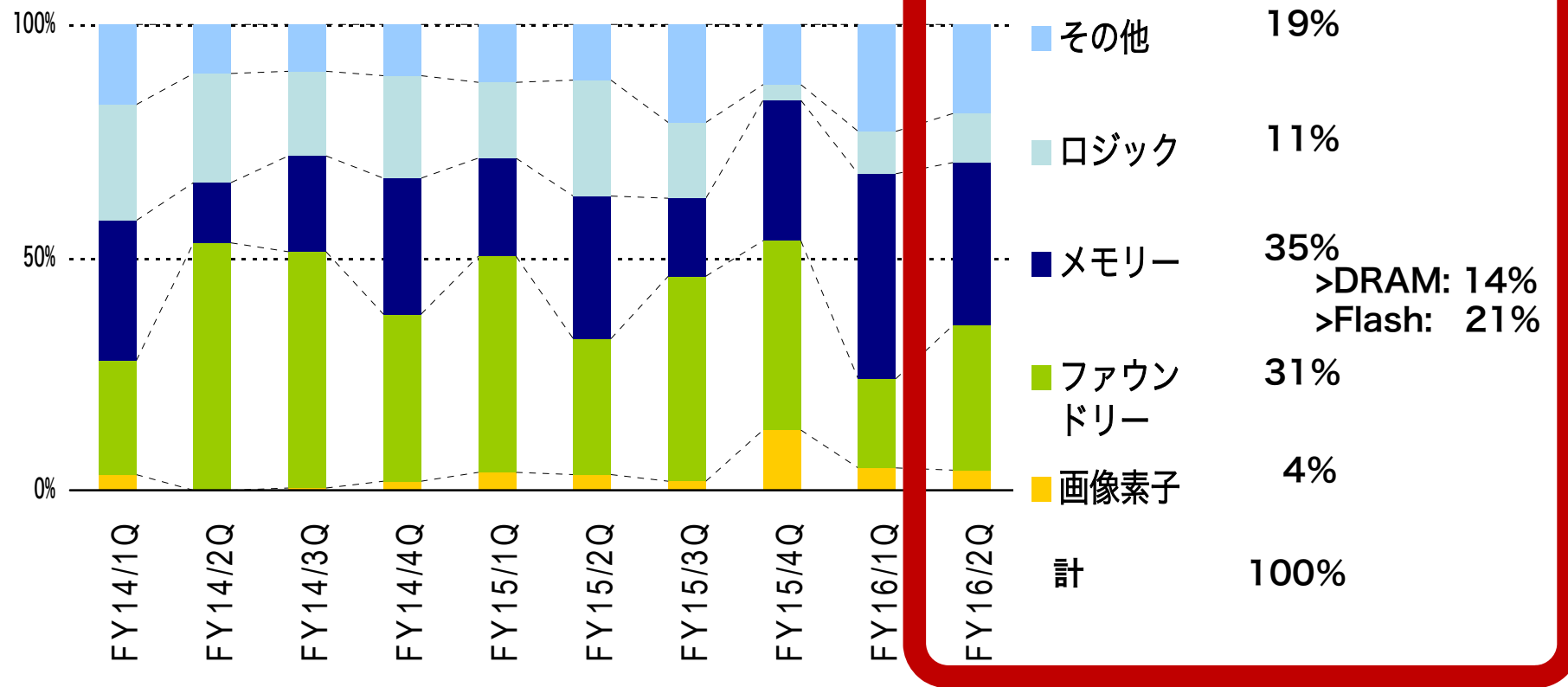
>>トピックス

- 上期は、前年同期比で、ロジック、ファウンドリー向けの売上は減少するも、メモリーや画像素子向け売上は増加。製品別では、主力製品SU3200が増加、バッチ洗浄、200mm以下向け装置販売が増加し、増収増益。特に2Qは1Q比、増収増益。

受注比率・四半期推移<SEセグメント・デバイス別単独>

>>単独・デバイス別受注比率

*ご参考 連結・2Q受注高：367億円



>>単独・2Q地域別受注比率



セグメント別・業績概況<GPセグメント>

>>前年同期比

(単位：億円)

	2015/3月期 上期		2016/3月期 上期		増減	
売上高	272	100.0%	313	100.0%	+40	+15.0%
営業利益	19	7.0%	17	5.7%	▲1	▲7.2%

(単位：億円)

	2015/3月期 2Q		2016/3月期 2Q		増減	
売上高	150	100.0%	165	100.0%	+15	+10.0%
営業利益	14	9.7%	7	4.8%	▲6	▲46.3%

>>前四半期比

(単位：億円)

	2016/3月期 1Q		2016/3月期 2Q		増減	
売上高	147	100.0%	165	100.0%	+18	+12.3%
営業利益	9	6.7%	7	4.8%	▲1	▲20.1%

>>トピックス

- GP事業は上期、印刷関連機器（GA）においてPOD装置の市場浸透を進めたことや為替が円安に推移したことなどにより、売上は増加。PE事業においても売上が前年同期比（上期、四半期ともに）で上振れた。一方、営業利益は前年同期比（上期、四半期ともに）および前四半期比で減益したのは、固定費が増加したことに加え、プロダクトミックスによる影響。

セグメント別・業績概況<FTセグメント>

>>前年同期比

(単位：億円)

	2015/3月期 上期		2016/3月期 上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	90	100.0%	159	100.0%	+68	+76.0%
営業利益	▲2	▲2.2%	15	9.9%	+17	-

(単位：億円)

	2015/3月期 2Q		2016/3月期 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	40	100.0%	96	100.0%	+55	+136.4%
営業利益	2	5.3%	14	14.6%	+11	+554.3%

>>前四半期比

(単位：億円)

	2016/3月期 1Q		2016/3月期 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	63	100.0%	96	100.0%	+33	+52.6%
営業利益	1	2.8%	14	14.6%	+12	+710.3%

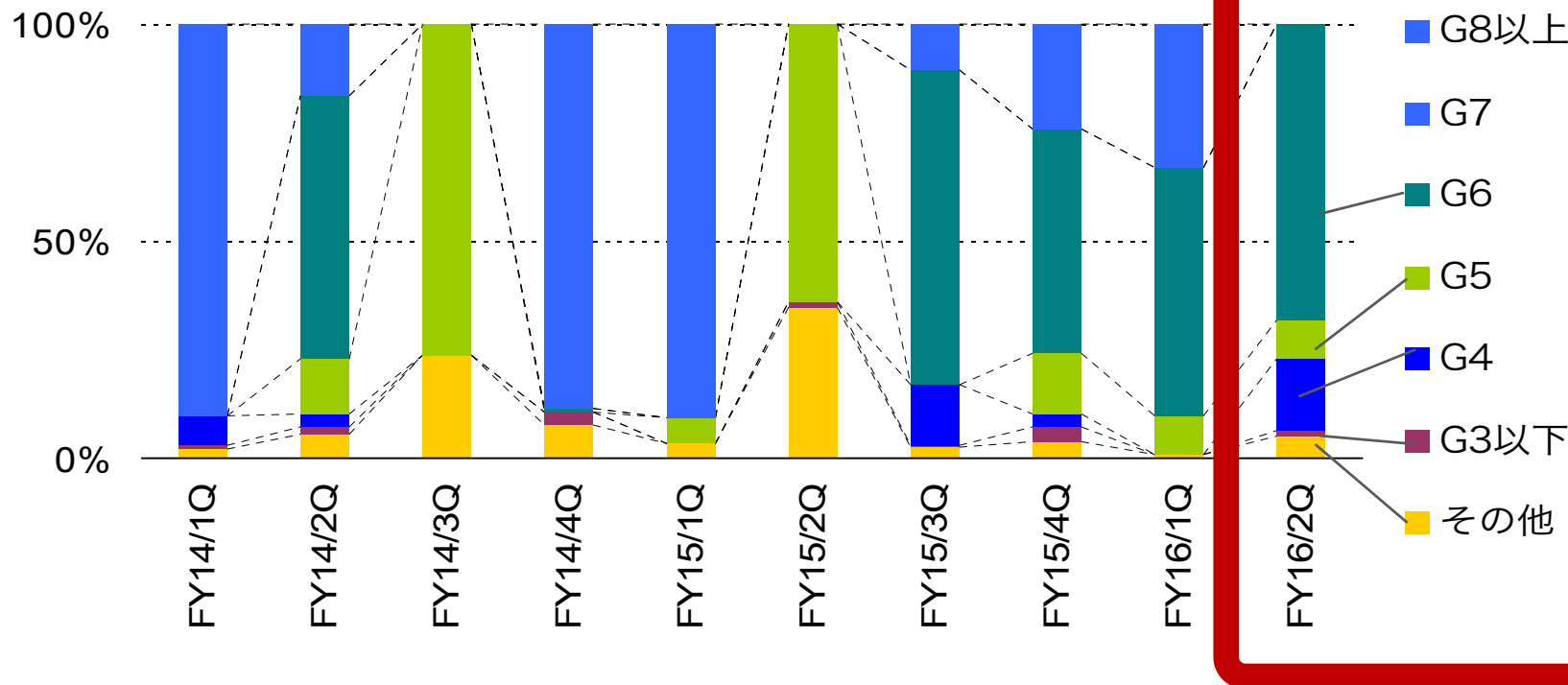
>>トピックス

- 上期の売上はほぼ8月予想どおりに着地、一方、営業利益は、予想より上振れ。売上増加に伴い、主力製品（大型パネル用製造装置）へのVE活動などの取り組みが進み、収益性が改善した。

受注比率・四半期推移<FTセグメント・世代別単独>

>>単独・製品サイズ別受注比率

*ご参考 連結・2Q受注高：60億円



>>単独・2Q地域別受注比率



1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」<中間報告>

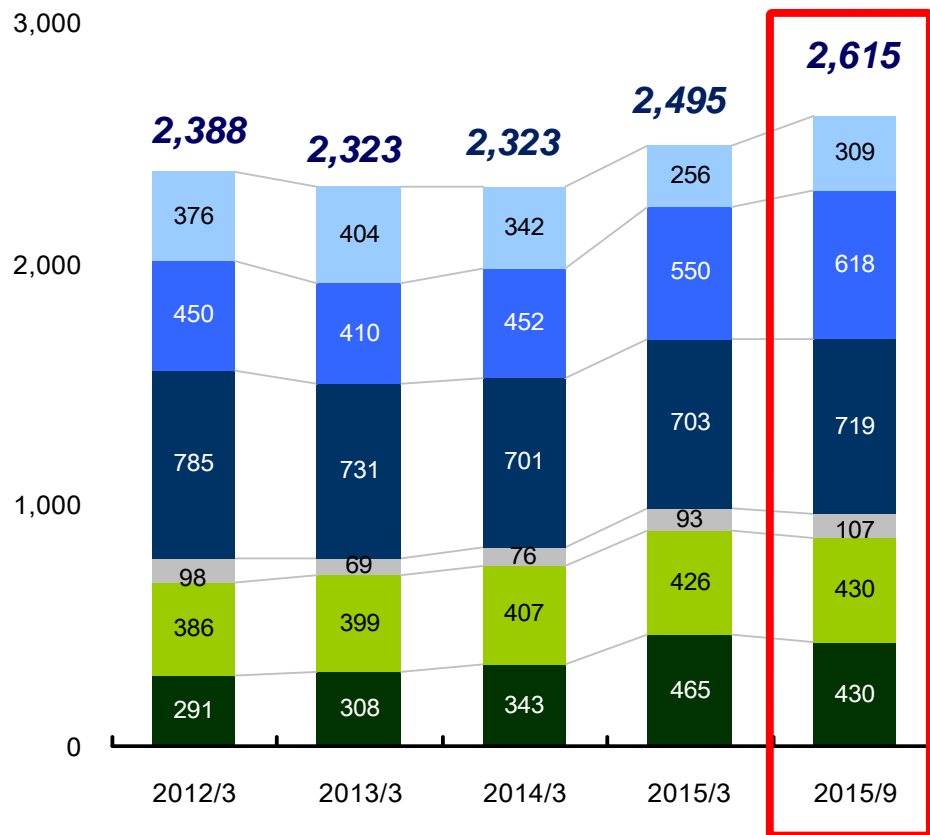
6. コーポレートガバナンス・コード対応について

貸借対照表<連結>

資 産

(単位：億円)

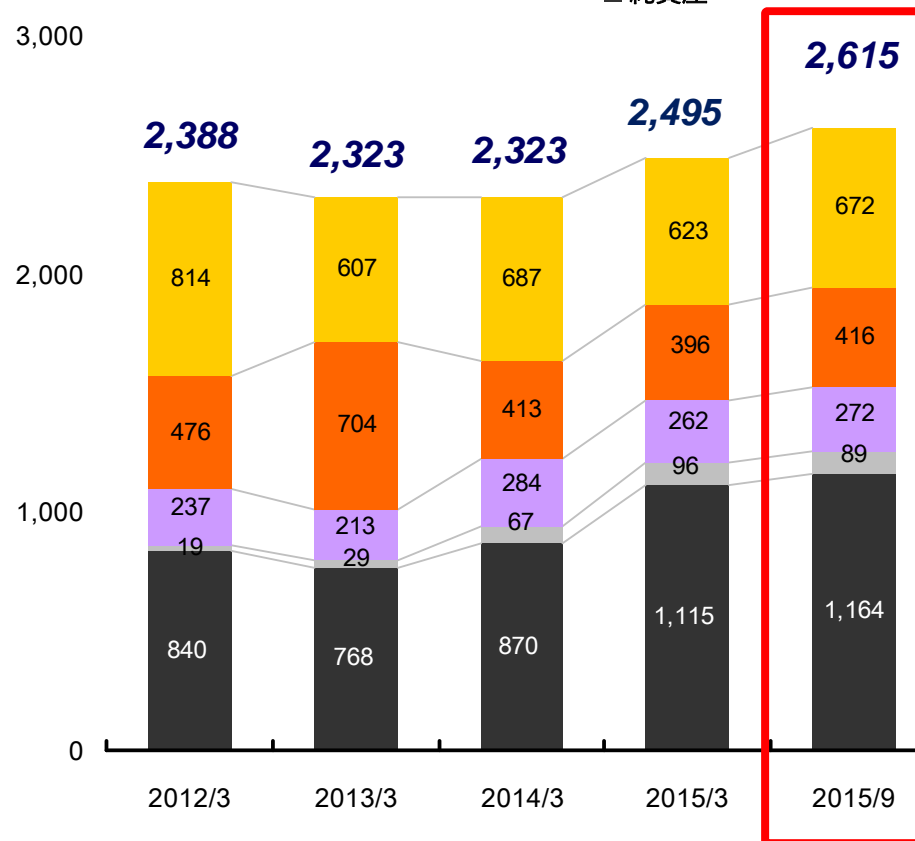
- 現金及び預金
- 受取手形及び売掛金
- たな卸資産
- その他流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産・投資その他



負債および純資産

(単位：億円)

- 支払手形及び買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産

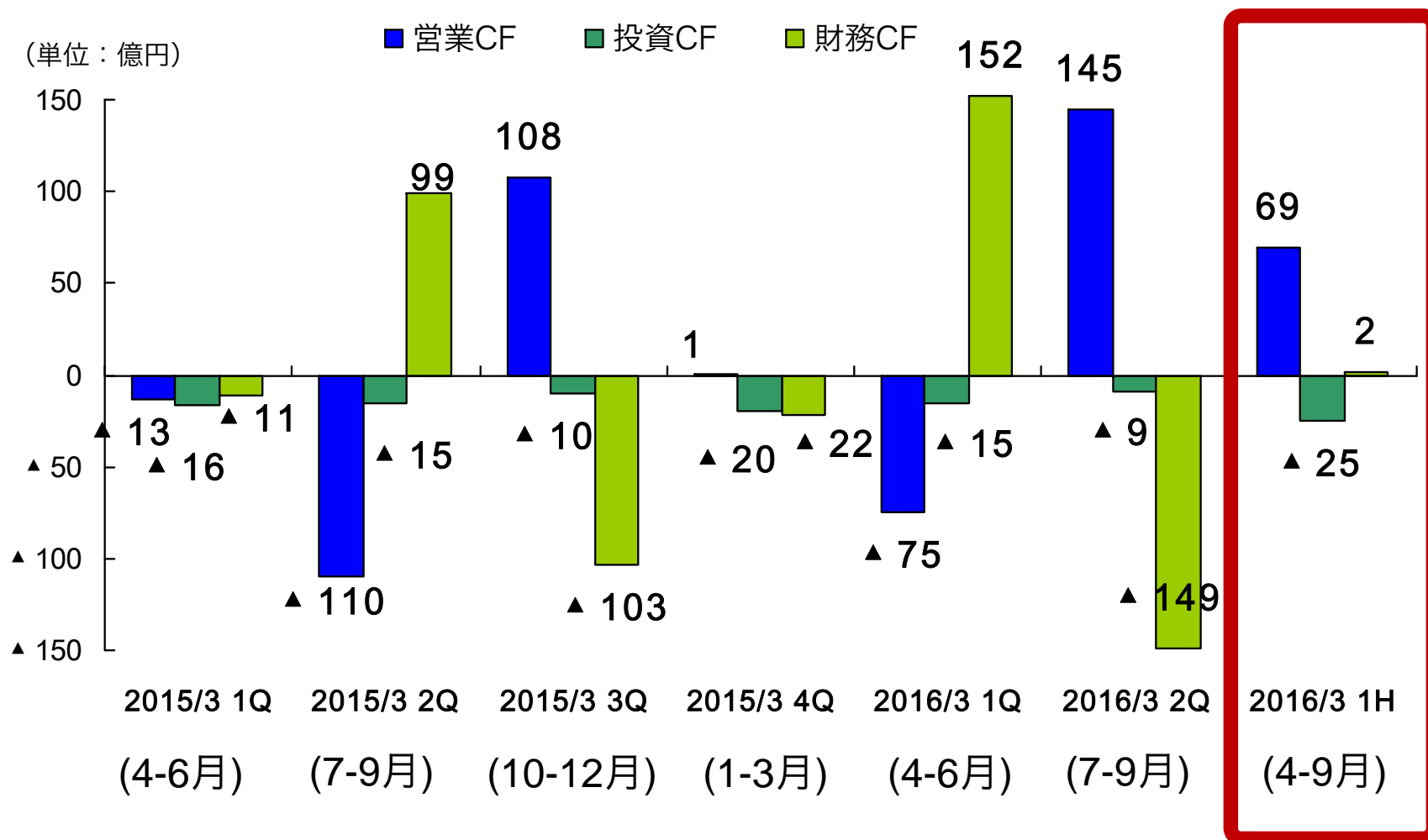


自己資本比率 44.4% (2015/3) → 41.6%(2015/6) → 44.2% (2015/9)

※2012/3、2013/3は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

キャッシュ・フロー<連結>

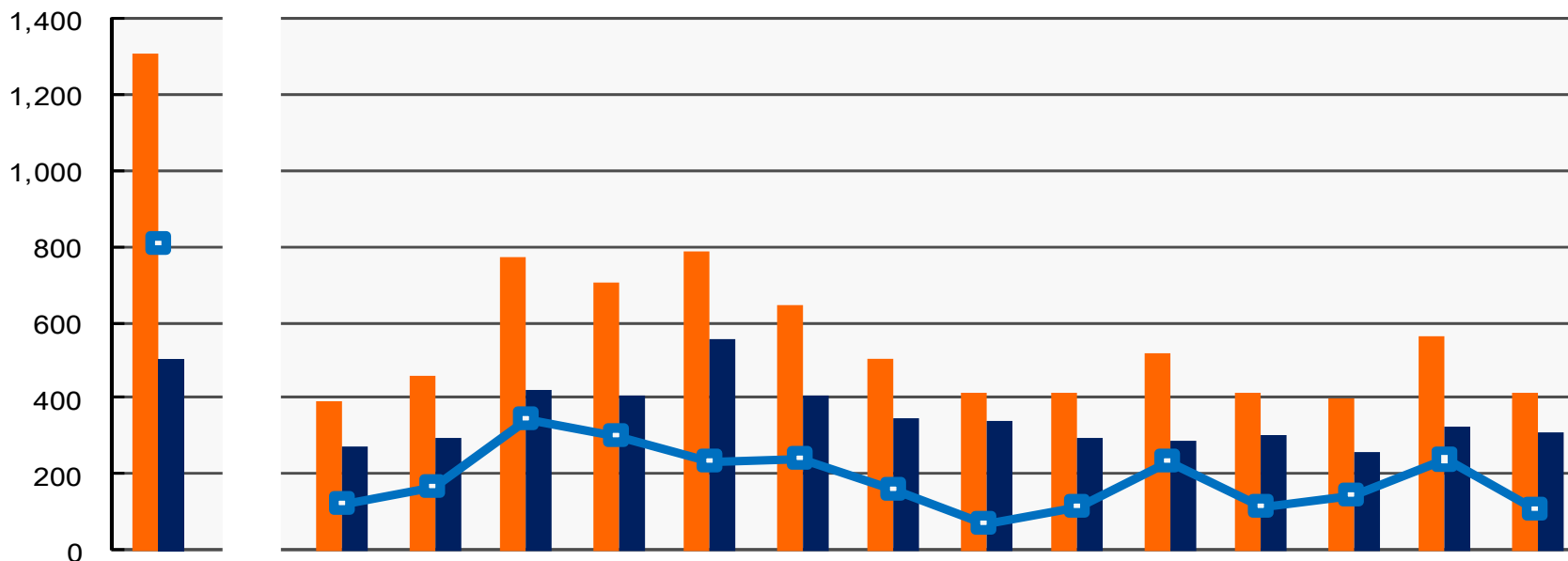
>>2Q累計 フリーキャッシュ・フロー： 44億円



有利子負債推移<連結>

(単位：億円)

有利子負債 現金及び預金 ネット有利子負債



	2010	2013/3期			2014/3期				2015/3期				2016/3期		
	/3期	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
有利子負債	1,310	393	459	769	704	786	649	507	413	413	520	417	396	565	416
現金及び預金	502	270	297	424	404	557	408	350	342	298	285	302	256	327	309
ネット有利子負債	807	123	161	344	300	229	240	156	71	115	235	114	140	238	107

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」〈中間報告〉

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

2016年3月期業績予想

(単位：億円)	2015/3期	2016/3期				
	通期	上期	下期(予想)		通期(予想)	
	実績	実績	8月発表	11月発表	8月発表	11月発表
売上高	2,376	1,298	1,230	1,191	2,490	2,490
S E	1,574	819	790	760	1,590	1,580
G P	557	313	295	276	590	590
F T	237	159	135	150	295	310
その他	6	5	10	4	15	10
営業利益	171	108	102	86	195	195
営業利益率	7.2%	8.3%	8.3%	7.3%	7.8%	7.8%
経常利益	160	106	102	83	190	190
親会社株主に帰属 する当期(四半期) 純利益	121	84	77	60	145	145

●想定為替レート>> 1米ドル=115円、1ユーロ=130円

●年間配当金予想>> 期末配当1株当たり10円

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」〈中間報告〉

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

中期3カ年経営計画と方向性 <2014年5月リリース時の課題>

■ 目指すべき方向性

→ 高収益体質へ

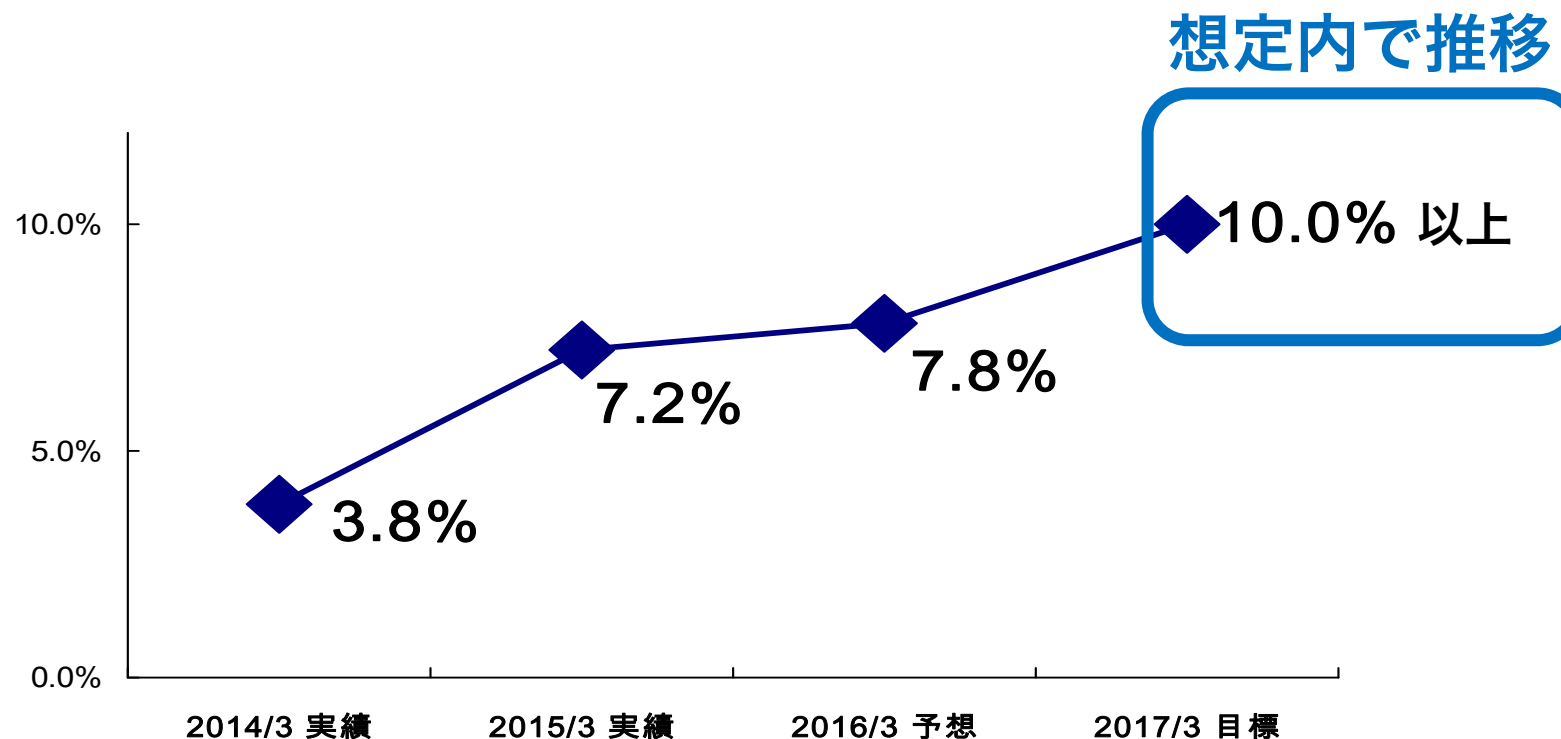
→ 新規領域での
事業化

→ 財務体質強化

3つの目標：

- ① 収益構造改革の完遂
最終年度の営業利益率10%以上
- ② 新規事業領域での事業化
4つの新規事業領域で黒字化
- ③ 財務体質の強化
最終年度の自己資本比率50%以上

強いものをさらに強く

目標①：収益構造改革の完遂>> 最終年度の営業利益率10%以上

●今後の重点テーマ>> 損益分岐点売上高の低減、営業利益率向上

目標②：新規領域での事業化>> 4つの新規事業領域で最終年度黒字化

現在、事業化に向けて前進中。

各事業領域で、技術・製品リリース済み。

●製品ラインアップの拡充：

- ・ライフサイエンス：3D細胞培養対応、細胞スキャナー、インクジェット式錠剤印刷機
- ・検査計測：鍛造部品自動外観検査装置（右写真）
- ・エネルギー：成膜装置群ほか
- ・プリントドエレクトロニクス（超精密印刷）



■トピックス■

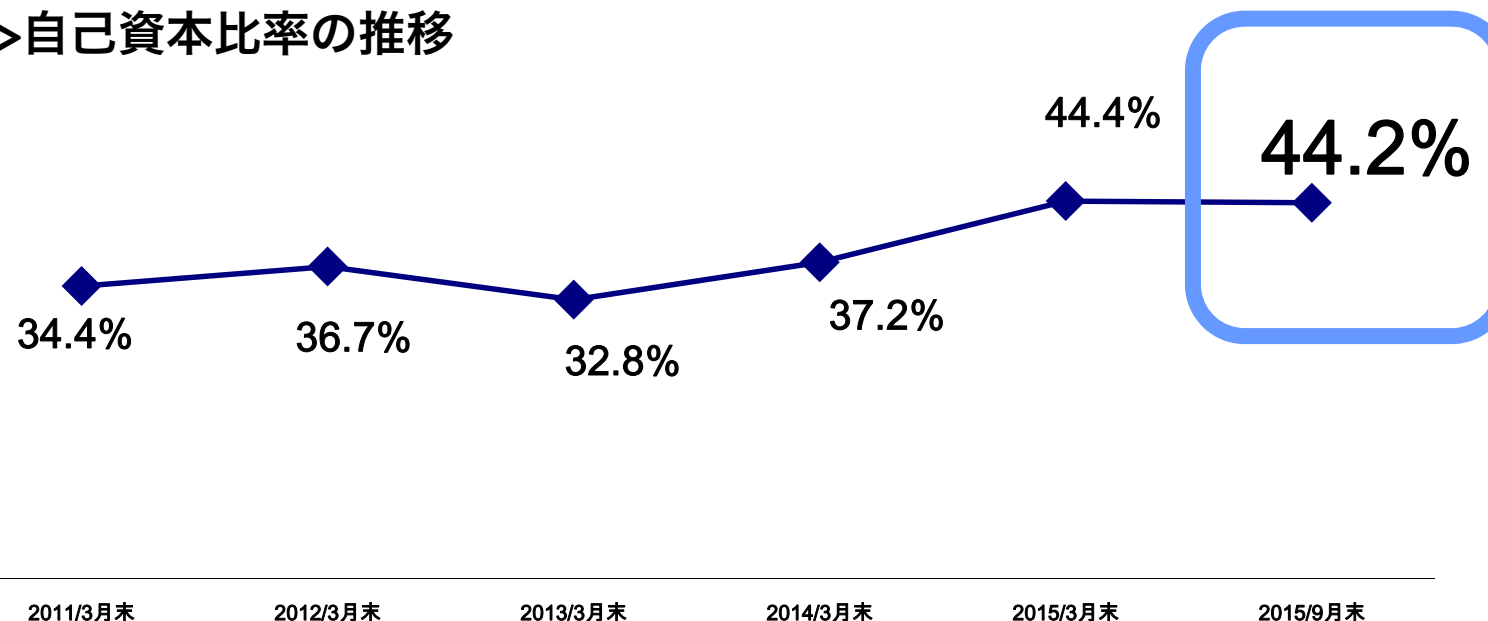
//11月5日付け、ニュースリリース

「プリントドエレクトロニクスの新たな製版技術を確立」
世界初、電子回路の一括形成を可能にする製版技術を開発

Printro **I** nics

目標③：財務体質の強化：最終年度末の自己資本比率50%以上

>>自己資本比率の推移

**●今後の重点テーマ>>**

- ・ 運転資本の最適化によるFCFの最大化（CCC短縮）
- ・ 資産効率の向上（政策保有株式の流動化、スタート）

→2017年3月末にネット有利子負債ゼロを目指す。

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績

2. 2016年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2016年3月期 業績予想

5. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」<中間報告>

6. コーポレートガバナンス・コード対応について

当社グループは、コーポレート・ガバナンスに取り組み、企業経営の透明性、健全性、効率性を追求し、すべてのステークホルダーの利益確保に努め、中長期的な企業価値向上を目指す

- ① 機関設計：監査役会設置会社
従来の「報酬諮問委員会」に取締役候補者・監査役候補者の指名機能を追加し、「指名・報酬諮問委員会」に変更
- ② 持株会社体制におけるグループガバナンス
HDによるグループ監督機能の強化と、事業・機能会社による事業執行機能との分離体制を明確化

③ HD取締役会

＜機能＞ グループ経営の基本方針・基本戦略の策定
グループに関わる重要事項の決定・承認、
グループ業務執行の監督

＜構成＞ 「社外取締役の割合を3分の1以上」 明文化

*2002年6月～ 社外取締役3人体制

④ 監査役・取締役の選任

「取締役候補者選任基準」「監査役候補者選任基準」明文化
「社外役員の実効性に関する基準」明文化

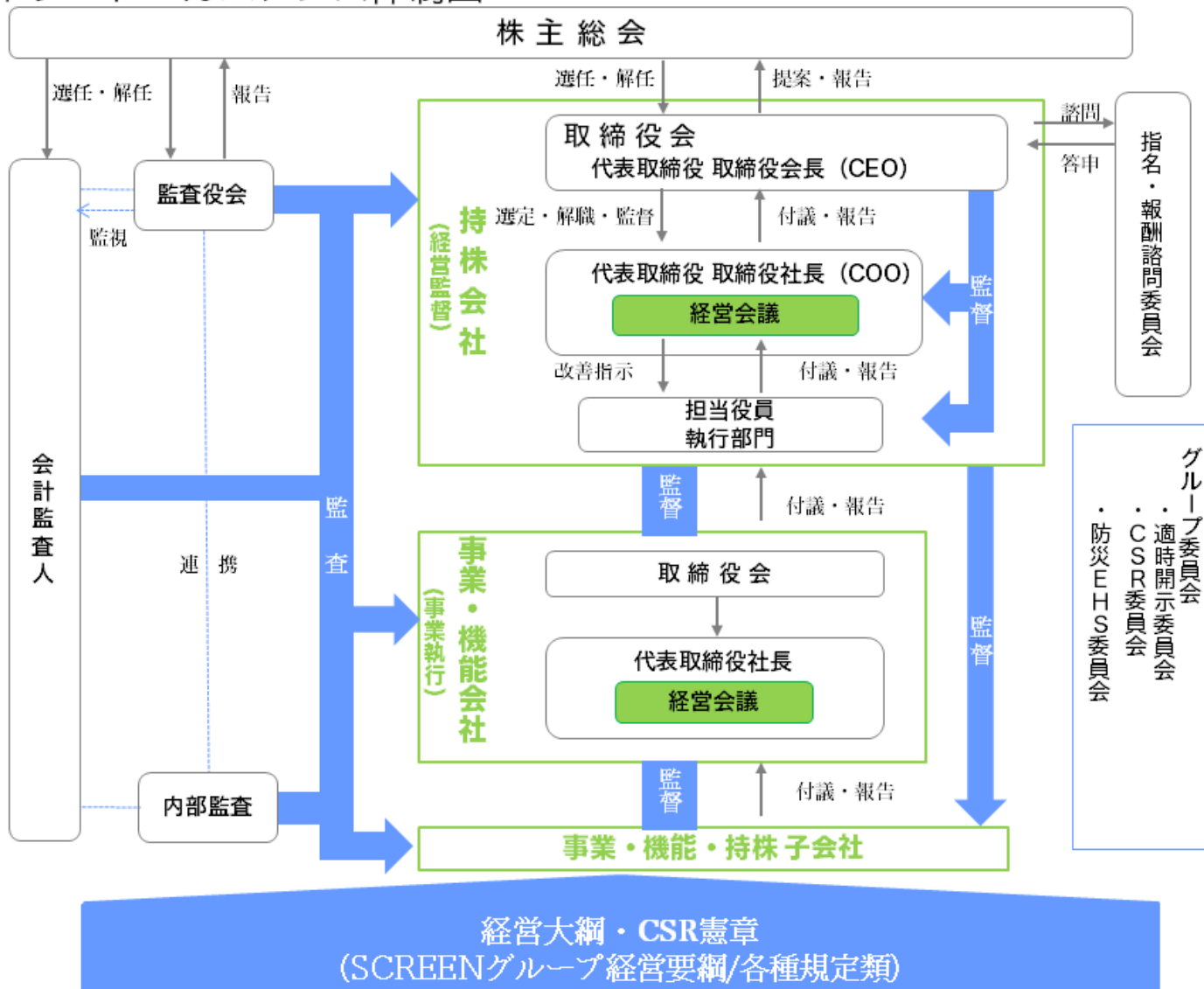
⑤ 政策保有株式

中長期的企業価値向上のため、経営戦略上必要と考えられる
株式は政策的に保有。主要株式について定期的モニタリング

⑥ 「ディスクロージャーポリシー(情報開示方針)」を新たに制定

コーポレートガバナンス・コード対応について

>>コーポレート・ガバナンス体制図



SCREEN

Fit your needs, Fit your future

